春の小川通信

2022. 3　NO.38

だれもが安心して暮らせる地域に。
障がい者の地域での暮らしを支援しています。

特定非営利活動法人　春の小川
〒399-0706　長野県塩尻市広丘原新田 93-1
電話/FAX　0263-51-6393　E-Mail　sarasara@diajanis.or.jp
発行責任者／理事長 小沼芳博

迷ったときに思い起こす大切な言葉

理事長　小沼 芳博

コロナ禍で最近「事業継続計画（BCP）」という言葉が取り上げられることが多くなりました。大企業では既に作成しているところが多いと思いますが、小規模な法人にも、あと 2 年もすると対策委員会設置が義務化になります。福祉法人にとって災害や感染症等で影響があっても、事業を短期間に立て直し継続させることは極めて重要なことです。

これに限らず、ここ数年の間に法律の変更等により多くの体制/指針整備が必要とされています。行政からはガイドラインが都度だされてはいますが、最終的にはその法人に合った方法を決めなければなりません。その際に知識だけでなく判断に迷ったときに拠り所となる考え方が、法人で共有されていることが大切だと考えています。

私個人の拠り所にしている考え方をあげてみますと、社会人になって以来大切にしている考えとして**「だれのために我々はその仕事をしているのか」**という思いがあります。当たり前すぎてつい忘れ、はっとして本質に立ちかえることがありました。また、心に残る言葉として**「分別の肝要は仁愛なり」**という格言があります。戦国時代毛利家の知将小早川隆景公の言葉ですが、物事を判断する時には、情けを念頭におけば間違いはなく、知識がどれだけ優れていても、人の道（仁愛）を外れてしまっては誰からも信頼されない、という意味で切れ者黒田官兵衛に対して言った言葉とも言われています。

少々大げさな話になってしまいましたが、判断をするものさしとして、心に留め当面の体制作りに活用したいと思います。

コロナ対策あれこれ

年明けから新型コロナウイルス感染症・オミクロン株の感染が急激に広がりました。1 月 27 日「まん延防止等重点措置」が長野県下に適用され、2 月 20 日までの期間が 3 月 6 日まで延長されるほどの勢いとなりました。この間、県の通知により春の小川の職員はＰＣＲ検査を行いました。職員や利用者の 3 回目のワクチン接種も進んでいます。

「まん延防止等重点措置」は終了しましたが、引き続き、体調確認、手指の消毒、マスクの着用等自分たちにできる感染予防対策の徹底に努めていきたいと思います。

PCR 検査のキット